

福祉のしごと PR コンテスト 2025 学生チーム

【課題事例】 丸山さんが笑顔で生活できるように支援をしてみましょう。

<p>1. 基本 情報</p>	<p>丸山さん 88歳 女性 要介護3 現在、介護老人福祉施設入所中 入所期間;3ヵ月 脳梗塞の後遺症で軽度左片麻痺がある。 性格は穏やか。他の人と交流する時には笑顔がみられる。 日中は、居室やホールでテレビを見て過ごすことが多い。</p>
<p>2. 生活歴・ 家族構 成</p>	<p>丸山さんは、農家の長女として生まれ育った。高校卒業後、結婚し、夫婦でりんご農家を営んでいた。70歳で息子夫婦にりんご農家を引き継いだ後、公民館で近所の友人たちと趣味の絵手紙や風景画を作成したり、夫や友人たちと買い物や温泉や旅行に出かけたり楽しんでいた。丸山さんは、いつも身ざれいでおしゃれをし、毎日の入浴も欠かさずに行っていた。夫の死後、息子夫婦と孫と同居し、料理や家事を行い孫2人の成長を楽しみにしていた。しかし、85歳に自宅での入浴後、脱衣室で着替えている最中に脳梗塞を発症して入院となった。退院後、車いすでの生活となり、徐々に介護の手間がかかるようになった。そのため、3か月前から介護老人福祉施設に入所となった。</p>
<p>3. 生活の 様子</p>	<p>【移動】車いすを使用。屋内は自走しており、屋外は、介助により移動している。 【食事】ホールで他の利用者と食べている。食事を提供されることはありがたいが、調理しないことに物足りなさを感じている。 【排泄】居室内のトイレを使用し、立位やズボンの上げ下ろしは一部介助を受けている。 【入浴】週2回、チェアタイプの特設浴槽を使って入浴している。「火曜日と金曜日だけでなく、できればもっとお風呂に入りたい」と話している。 【着脱】一部の介助により着脱できる。服装に気を使っているが、お気に入りの衣服は自宅にあるため、施設では着ていない。 【居室】個室を使用している。整理整頓がされているが、初めての入所で家から持ってきたものが少なく殺風景である。毎日の習慣であったお仏壇へのお参りができないことをさみしく思っている。 【対人関係】自分から他の人に話しかけることは少ない。家族に会いたいと思っている。 【余暇活動】ホールに一人であることが多い。「日中、テレビを見ているだけなので、他の人と何か楽しいことをしたい」「施設にいても、もっと他の人に役立つことがしたい」「屋外にも出てみたい」等の希望がある。 【家族の思い】りんご農家で忙しく、家で介護できずに申し訳ない。できる限りの支援を行いたい。丸山さんは、社交的であるが、人に慣れるまでは遠慮がちである。</p>